

# 熊本朝日放送

## 事業の名称

学校教育における情報活用教育に関する連携協定

## 共同で事業を実施した団体

熊本県阿蘇郡高森町、高森町教育委員会

## 事業概要

熊本朝日放送が、高森町、高森町教育委員会と結んだ「学校教育における情報活用教育に関する連携協定」は2年目に入り、重層的かつ複合的な学びの場の基礎を築く1年になりました。2023年度は、高森町立高森東学園義務教育学校（2年目）、高森町立高森中学校（1年目）、高森町立高森中央小学校（2年目）と高森町内すべての小中学校で連携授業を実施しました。

### 【活動内容】

#### ◆ニュース番組制作

高森東学園では2022年度同様、異学年合同で取り組む「高森ふるさと学」（同校で総合的な学習の時間として設けている）を協働して展開。2023年度は「高森町のニュース番組制作」をテーマに授業を行いました。

制作するテーマ決めはもちろん、取材先のリサーチや選定、カメラ撮影、インタビュー、構成の組み立て、ナレーション原稿の作成・収録など、多岐にわたる工程は実に4カ月にもわたりました。5～8年生が4班に分かれ、役割を分担しながら取材し、素材が集まったあとも、インタビューの文字起こしやオンラインでの編集、さらには不足分の再撮影など、番組の完成に向けて妥協なく取り組む姿勢には、自らの成長を求める強い意志を感じました。『NOKaTs広めるばい』と題した高森小中生による地域活性番組を、2023年12月31日16時55分～17時に地上波で放送しました。

#### ◆ニュース原稿作成

初めての連携授業となった高森中学校では、1、2年生で集中講座を開きました。1年生の国語科では、複数放送局の同一取材における構成比較で報道の視点を分析したあと、阿蘇地域の世界農業遺産認定時における実際の取材メモを提供し、独自教材を用いたニュース原稿制作を行いました。班ごとに組み立てた発表はバリエーションに富んでおり、「伝える」ために行われている「編集」の持つ意味を感じてもらっていると期待しています。



#### ◆スタジオ見学

コロナ禍が落ち着いてようやく実現したのは、小学5年生の社会科に採用されている単元「情報産業と私たち」におけるテレビ局のスタジオ見学です。従来であれば座学で取り組みますが、高森中央小学校と高森東学園の生徒たちに向け、実際にテレビ局で授業を実施しました。スタジオでのカメラ操作体験やニュースデスクへのインタビュー、アナウンサーのリハーサル見学など、生放送の仕組みに触れる時間は、実感を伴う学びの機会になっています。



### 事業の成果

2年目となった高森町、高森町教育委員会との教育連携の総括ですが、年度のカリキュラム開始時点ですでに私たちの間に一定の「信頼関係が築かれている」ことにより、いっそう「才能をひろげる機会」になったと感じます。教育においてはこの土台こそが重要で、3年目となる2024年度はさらに重層的な取り組みにつながる予感がしています。

特に2年目の取り組みとなった高森東学園においては、前年からのステップアップを児童・生徒、そして先生方が意識されていました。1年目の課題として挙げられていたのが、児童・生徒が制作した作品をより多くの方に見て



もらうとともに、アーカイブして町の財産にすること。そこを起点とした結果、「高森町のニュース番組制作」という授業内容になりました。

大人顔負けの仕上がりになったことは、「自立した学習者」たちのがんばり以外の何ものでもありません。「初めての経験が楽しかった」「番組づくりの工夫をたくさん知ることができた」「インタビューした方に楽しいと言ってもらえた」などの生徒たちの言葉には、充実した時間を読み取ることができます。

インターネット配信のみならず放送という手段で多くの方に児童・生徒の成果を見ていただけるのはテレビ局との連携ならではの成果と思っています。「番組」という「アーカイブ」を残したことによって、学習成果としての価値も高まったとの声を、児童・生徒や町の方々からいただいています。また、教員の皆さんが意欲的に取り組んでくださったことが2023年度の「成果」につながりました。

無限の可能性を秘めた子どもたちには、相互理解を重ねることで深まる知識欲があるように感じます。これからも試行錯誤を繰り返しながら、教育への企業貢献を続けていきます。

以上